

ガイアの森のようちえん 保護者アンケートより

① ガイアの森のようちえんに入園した理由は何ですか？

・一番は、娘が一人で体験入園して迎えに行った時、キラッキラ笑顔だったからです。想像を超える大自然の中で常に発見や感動がありました。おしゃべりな娘の一言一言をのがさず応えてくれるスタッフに親子共に安心感を得ていたんだと思います。

・本当に体を動かすことが大好きな息子。習い事ではなく自由に思いっきり走って遊べる場所を探していました。きっとここならエネルギーを発散し、心も解放し、無心で遊べると思い入園しました。

・本人が体験してとても楽しんでいました。今日やることを自分で決めてやっていくことに共感したから。←これから子どもが育っていくのにとっても必要なことだと思ったので。スタッフが子どものことをよくみて下さっている。(その子のよいところなど)

・今通っている園があまりなじめない。自然の中でのびのびしてほしいと思った。

・ガイアでは自分の気持ちを大切に、相手に伝えて、相手の気持ちも大切にしようという子どもたちの気持ちのやり取りを、スタッフが丁寧に見守り、時には力を貸してくれて架け橋となってくれます。そしてその関わり合いこそが教育において最も大切な根幹だと私は思います。

生きていくうえで最も大切なことを経験し、学ばせてもらっていると思います。

子どもたちをガイアに参加させていると話すと、多くの保護者さんが「やっぱり子どもには自然体験させたいよね！」と言われますが、私は自然体験をさせるために子どもをガイアにお願いしているわけではありません。一番の理由は、子どもを育てるうえでもっとも大切な心の触れ合いをガイアでは大切にしてくれるからです。

ガイアがフィールドを自然のなかに選んだのは、心の教育は教科書でするものではなく、日々の丁寧な関わり合いのなかでこそ育まれるものである、その最も適した環境を迫及した結果であると思っています。

かと言って、では自然体験は望んでいなかったのかと聞かれると、それは「NO」です。地域や時代、国、民族、宗教の違いで、善悪や法律や常識といった人間が定めようとするものは変わります。一方、いつの時代も世界中どこでも、自然界は自然の摂理に則り、因果関係は明瞭であり、現実はいつも厳しい。自然には善悪も思惑も計算もありません。

自分の力の及ばない自然環境の中で、なんとか自分を生かさねばならない。それはこれから生きていく限り、人は誰もが自分の置かれた場所で精一杯生きるしかない、そのことに通じる原始体験だと思います。自然の中で、自分の無力さ、自分の可能性、自分の正義を知ってほしい。自然から教わっていれば、人の道だけは踏み外さない。私はそう思います。自然の中でのびのびと楽しむ工夫をして、仲間と協力して乗り越えて、心身共に強くなってほしいと願っています。

社会の中で人と生きていくための心の強さ、自然から学ぶ自分というものの存在、その二つをガイアで子どもが得てくることを期待して、森のようちえんに入園しました。

② ガイアの森のようちえんで子どもたちや親御さまが得ているものは何ですか？

・自分の子どもなのですが、いつもとは違った顔、心が満たされている。食事はいつもおいしいとって食べているみたいで、その旬のものを少しずつですがわかるようになり、大人でもわからないことを教えてくれます。遊びも自分で考え、ゲーム機がなくても楽しいとわかるようになってきました。

・息子にとってももちろん楽しく、思い出に残る貴重な経験です。そしてそこから得られる体と心のたくましさ、これは今後成長する上で心に与える影響はきっと大きいと思います。

・スタッフによりそってもらい、自然の中での癒しもあり、感情がデトックスできています。頭の中がすっきりしているからか、以前より会話がスムーズだったり、文字や数字も興味をもてば、吸収がとても速くなりました。楽しく遊びながら体力や体幹もかなり鍛えられました。また、親子共に自分の感情と向き合えるようになってきました。子どもとの関係は色々ありつつも深まっている気がします。

・子どもがのびのびと活動している姿や充実している顔を見られる喜び。自分自身もガイアの森に行くと心に何かが生まれる。喜び？ゆとり？リセット？元気になる！行くことが楽しみです。

・同じものを好きだ、同じ体験を楽しんでいる仲間。これは子どもにとってもですが、親としても他の保護者さんやスタッフとのご縁はとてもありがたいです。たくさんの刺激や癒し、そして自分を見つめなおすきっかけをいつも頂いています。

活動場所が年間を通じて同じなところもいいです。季節によって天候が違えば一日でだって移り変わる森の様子を五感で味わい、森の中で日々新しい発見や遊びをすることができるからです。子どもの中で、点だった体験が、回を重ねるごとに線に繋がる様子がわかります。

③ ガイアの森のようちえんに期待するものは何ですか？

・今のままずっと永く続けてほしい。

・子どもの笑顔。

・色々な体験。地域の方とのふれあい。音楽。ルールのあるゲーム（勝つことは大事じゃない、負けたからダメではない、人と比べず自分の中の向上心を培ってほしい。）

・今でも子ども一人ひとりをしっかり見て下さっているし、親も何でも話せる、話しやすい、いつまでもそんな感じであってほしいです。

・平日通園型森のようちえんメンバーでのキャンプ！スタッフが大変かと思いますが、ぜひお願いしたいです。

④ ガイアの森のようちえんで改善してほしいことは何ですか？

・ホームページをもっと見やすくするとよい。

・ジェットコースターのような道（森へ入る下り坂）は改善してほしいです。

・特にはないです！

・改善してほしいということではありませんが、今後も引き続きお願いしたいことであれば、衛生管理。トイレ後、食べる前には手をきれいにすること。子どもは不用意に目や鼻、口元を触るので、感染症や寄生虫が心配です。

⑤ **入園を検討されている子どもや保護者さまへのメッセージがあればお願いします。**

・とにかく楽しいです。ありのままの自分であることができます。

・親子にこにこくらぶや、ペアレンツグループも本当に楽しかったです。他ではなかなか体験できないです。子どもも親も元気になれます。

・虫を捕まえるとき、マッチに火をつけるとき、山のでこぼこした斜面を走るとき、川の中を歩くとき、遊びを通しておこるすべての状況の中で、失敗もしながら自分で気づき、遊びながら学ぶ。そこには言葉では伝わらない体験による学びがあり、これはスタッフの皆さんの教えでもあり、想いでもあると思っています。

・6歳までが右脳を発達させる鍵で、「楽しい」の感情が一番右脳を活発にしてくれるそうです。こんなに思いっきり遊べる所はなかなかないです。「のびのびとありのままの自分である」「自分の人生を能動的に生きる」ガイアの森のようちえんは、その土台を築くのに最高の場所だとも思います♪

・1度2度だけでなく、ぜひ何度もガイアに参加して、お父さんもお母さんも一緒になってガイアと自然に関わってみてください。子どもも保護者も、自分と向き合うヒントをたくさんもらえると思います。

危険じゃないのか、心配じゃないのかとよく聞かれます。親と一緒にいてもすべての危険から子どもを守れるわけではないですよ。心配なんて当然、いつもしています。それでもリスクを上回る体験があると信じて、ガイアに子どもを託しています。

教育とは「情熱」と「慈愛」、このふたつに尽きると思いますが、その両方がガイアの森のようちえんにはあります。

編集後記

今回、このアンケートを保護者にお渡しする時、「広報ありきではないので、率直に書いてください。」とお願いした。そして手元に戻ってきた数々の言葉とそこに込められた保護者の方々の気持ちが伝わってきて、感動した。ガイア自然学校の想いや言葉、実践が伝わっている実感に嬉しくなり、同時に身の引き締まる思いを感じた。元気で可愛らしく無限の可能性を持った子どもたちとの出会いと、ガイア自然学校を信じてその子どもたちを託して下さっている素晴らしい保護者の方々に心から感謝したい。

そして新たな出会いの期待に胸を膨らませつつ、今日も明日もいい汗かいていこう！

2018年8月

NPO 法人ガイア自然学校とやま 代表 守屋謙